



編輯部 磐城時報編輯部 印刷部 磐城時報印刷部 發行部 磐城時報發行部

的改善を加へ從來の日産十五噸に倍加の二十五噸を計畫してゐる。

縣當局の無責任に

鮫川疏水で憤慨

今明兩日議員總會

無放任主義に抗議

昭和九年以降四年繼續して現在も何時第二班にとり工費三十六萬圓を投じて復活せられぬが殆ど見當つた

四倉漁港の

第二期工事の運動

新妻町長抱負を語る

四倉港では来る十月頃完成して運動を起すこととなつた第一期工事に引続き第二期を進行の目的で暴町一

磐陽野球大會 組合せ決まる

磐城審判協會主催磐陽野球大會は毎日平驛に出動待合室の

四倉署異動

去る三十日行なはれた縣下警察官の異動に關し四倉署佐古德市(三二一)山口喜一郎

七月から操業

昭和和絹工場

石城郡錦村昭和和絹工場では既報の如く清水組の手で復興工事を急ぎつゝあり、

室町時代の阿彌陀尊發見

草野村の舊跡から

既報一草野村大字細谷青瀧三尊種子の供養塔十數基を千手觀音像は本縣史蹟調査

落盤で二名即死

内郷村磐城炭礦住吉坑坑夫警察官の異動に關し四倉署佐古德市(三二一)山口喜一郎

四倉町會

四倉町昭和十一年度の特別戸籍割賦課税に關する町會

署長觀送迎會

四倉警察署署長鶴岡氏の後任薄葉拾吉氏並に神永部長

小名濱測候所の觀測

三十日夜あたりからグッと温度が下つて福島あたりは

四倉署管内 消防幹部異動

四倉警察署管内消防組(四倉、大浦、草野)の三組の

一般から感謝される 平少年團の奉仕

公徳週間の活躍

女工さん 募集

加納活版所

遭難死体

長勢丸の

Parasol 中野洋品店 長勢丸の遭難死体 女工さん募集 加納活版所

和洋銅鐵金物問屋

久屋商店

諸橋久太郎

電話九九九番

磐城高等女學校

夏の新制服賣出

輝く碧空の下に颯爽と
なかやの制服で!

型・生地・裁縫・
細かい点にまで充分
吟味して御座ります。

1.45

ふかや洋服店 平電 三203

柳居津 虚空藏尊參詣

コース 猪苗代湖：野口英世博士生
家：國寶立木觀世音參拜：
白虎隊參詣：東山温泉：虚
空藏尊參詣

期日 六月十日午前八時出發
東山温泉一泊

會費 金五圓 御一名様往復、自動車
賃金、宿泊料、食料共
ごなたも御申込下さい。

主催 尾子自動車商會
遊覽部
電話六四〇

味噌と油

合

福島縣平町

山崎名會社

電話(營業部専用)一〇〇番
(一般用)二七番
振替東京一九七五五番

明治生命 磐城代理店 山崎與三郎

春は...

レニコート
春のオーバ
春のセビロ

御用命を!

平町四
正札堂洋服店
電話四三番



釜めしの元祖

毎度御引立に預り厚く御禮申ます
本年も例年の通りウナ井並にシノダ
すしを始めました。多少に拘はらず御用
命下さい。

ウナ井 二十錢
シノダ 二十錢
親子井 二十錢

四倉町仲町幸町通り
御料理 出前迅速 **大漁亭**
電話五十一番

耳鼻咽喉科専門

鈴木醫院

醫學士 鈴木正男

(入院のお需に應ず)
自炊の便あり

平町田町藤田女學校前
(電話五八番)

イウキサロン

男給の店

食事 喫茶 喫酒
場

町田・平
(二五三電)

石炭
コークス
豆炭

平驛前
阿部石炭店
電話三七番

外科一般 特ニ内臓外科
皮膚科 肛門病科

北川外科

レントゲン科 物理療法科

平町新川町(諸橋醫院跡)
醫學博士 北川芳夫
技師 小林良次
電話四六四番

吸入用酸素 純度99%

モノサシ
ハカリ
マス

体温器
寒暖計

秤ノ取緒・鍍糸・修覆致レマス

寫真機
材料一式

關内藥局
電話四〇番

外科専門

光線科

入院應需

平町南町
上田外科醫院
電話二二九番

耳鼻咽喉科

大和田醫院
平町南町(電話一七〇番)

入院自炊の便あり

蓄膿症 根切藥 **快鼻湯**

本劑は幾多の藥劑ありと雖他藥の及ばざる良藥
であります。左の病症の方は一時も早く服用さ
れ快癒されん事を御奨め致します。

蓄膿症、慢性急性鼻加答兒、鼻汁多加症、頭重、肥厚性鼻炎に
發効あり。其他鼻骨彎曲症、並に中耳炎に偉大なる神効ありと
賞識されております。

磐城國平町一丁目
家傳胃腸藥製造元 **水野藥局**
責任製劑者 藥劑師 水野清一
電話六九九番